

かわさき教育プラン

基本理念・・・夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を構築する

《自主・自立》

変化の激しい社会の中で、だれもが多様な個性、能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り拓いていくことができるよう、将来に向けた社会的自立に必要な能力・態度を培う

《共生・協働》

個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを生かし、ともに支え、高め合える社会をめざし、共生・協働の精神を育む



学校教育目標 《共に学び、明日が楽しみになる学校》

・根・・・根をはる

・智・・・学んでのびる

・和・・・調和する

命を大切にし力を合わせて取り組む子 主体的・対話的に学ぶ子 互いを認め合い思いやる子

学校経営の方針

児童・教職員・保護者・地域が、互いのよさや強みを生かし、協働して学校教育目標の実現を成し遂げる

- 人権尊重を基盤とした児童理解の推進
- 児童の主体性・協働する力を育むカリキュラムの創造
- 主体的、対話的な学びの実現を目指した授業改善の推進
- 能動的に機能する運営組織の確立と業務改善の推進
- 地域や家庭との連携を図り、開かれた安全で信頼される学校づくり

今年度の重点目標と具体的な取り組み

○根をはる

自主・自立

自己を見つめ、自己と他者の命と存在を大切に、工夫して力を合わせる態度、心身の成長に進んで取り組む態度の育成を図る。

①自己肯定感を高める学校・学級づくりの推進

- 一人一人に出番と居場所のある学校・学級づくりをする。
- 一人一役の実行委員の活動を通し、責任感と自信を醸成する。

②主体性を育む特別活動の推進

- 学校行事、特別活動などを通し、児童の主体性、協働性が高まる参画と実行ができるよう支援し、成果を価値づける。
- 異学年交流を推進する。
- 児童発信を生かし価値づける。

③目標を持ちあきらめずに挑戦する態度の育成

- 新しいことや困難なことに挑戦する機会をつくり、プロセスを大切に、意欲を高める。
- 自己目標「なりたい自分」設定を支援し、努力する姿勢を育てる。

④健康と体力の向上

- 自己と他者の命と存在を大切に、心と態度を養う。
- 健康教育と食育の推進を図る。
- 体育授業充実とキラキラタイムの推進を図る。

⑤防災・防犯教育の推進

- 児童の安全を最優先した防災防犯計画に基づいた訓練・教育を行う。危機管理マニュアルの検証改善を行う。
- 安全安心に向けた、保護者・地域・近隣校との連携を図る。

○学んでのびる

学びの改善

資質・能力の育成を目指し、主体的で対話的な学びの実現に向けた授業改善を図る。

①資質・能力の育成に向けたカリキュラムの編成

- 資質・能力の育成の視点から、学年や他教科との関連を意識して練り上げる。
- 計画的・系統的なキャリア在り方・生き方教育を推進する。

②主体的・対話的で深い学びの実践

- つきたい力を教師も児童も意識し、見通しをもって学習を進め、振り返る力をのばす。
- 自分の考えをもち、伝え合うことで互いの考えを広げ、学びを深める。

③かわさき GIGA スクール構想の推進

- 授業で効果的に端末を使い授業改善を図る。
- 既習や他者とつながることで、効果的な授業改善を図る。

④指導力・授業力の向上

- 校内研究を中心に実践研究を通して教師の指導力・授業力の向上を図る。
- 課題に沿った研修の計画実施で教師の資質の向上を図る。

⑤読書活動の充実

- 意図的で豊かな読書活動の推進を図る。
- 想像力を育む生涯にわたる読書活動の基礎を養う。

○調和する

共生・協働

互いを認め合いながら、共に生きる協働する態度の育成、思いやりの心の育成を図る。

①互いのよさや違いを認め合い思いやる心の育成

- 道徳教育・人権尊重教育の推進
- 毎日の授業の中で、互いのよさや違いを認め合い思いやる心の育成を図る。

- 効果測定・共生・共育プログラムの効果的な実施と活用

②支援教育の確立と推進

- 児童や保護者の声に耳を傾け教育相談の充実を図り、校内の支援体制を充実させる。
- 関係機関と連携し、組織的な支援体制を充実させる。

③児童指導體制の確立と推進

- いじめの未然防止に向け全校の人権意識を高め、早期発見早期対応を徹底する。
- 児童指導上の問題解決を迅速にチームで対応する体制を確立し、実行する。

④基本的な生活習慣と規範意識の育成

- 挨拶、言葉を大切に、明るく人とつながるよさを実感できるよう価値づける。
- 学校・社会生活のルールを理由や守る方法を考え、自己を律し、行動する態度を育成する。

○保護者や地域の教育力の活用

- 地域学習材や地域協力者を積極的に学習に取り入れ、体験活動の充実を図る。
- 保護者や地域協力者に学習の意図を説明し、理解を得ることで効果を上げる。

○連携教育の推進

- 幼保小の交流を推進し、スタートカリキュラムの充実を図る。
- 小中連携教育を通し、学びの連続を目指す。

○PDCA サイクルの確立

- 保護者アンケートや学校運営協議会の充実を図る。
- PDCA サイクルを活用し、全職員が参画のもと、次に生きる学校評価を実施する。

道徳教育・人権尊重教育の全教育課程での推進